

平成 27 年度修正事業計画書

自 平成 27 年 4 月 1 日
至 平成 28 年 3 月 31 日

公益財団法人高山国際教育財団
東京都新宿区新宿 1-1-11 友泉新宿御苑ビル

平成 27 年度修正事業計画書

平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで

1. 奨学金支給事業

1) 奨学金の支給

- ① 平成 27 年度第 2 期の奨学生として平成 27 年 6 月初旬に大学学部 1 年生および大学院生の選考を行う。
- ② 下記のとおり 2 名増員し、111 人の奨学生に対し奨学金を支給する。内 1 名は第 1 期選考の学部生補欠 1 名を繰上げ合格とする。大学学部生には月額 1 万円増額し月に 12 万円、大学院生には月額 2 万円増額し月に 15 万円支給する。

日本語学校生	<u>60 千円/月</u>	新規 <u>22 人</u>
大学学部生	<u>120 千円/月</u>	新規 <u>33 人</u> 、継続 28 人
大学院生	<u>150 千円/月</u>	新規 <u>16 人</u> 、継続 12 人
うち特別奨学生	1 年間の授業料	<u>新規 3 人</u> 上限は 100 万円/人
- ③ 平成 28 年度特別奨学生の募集を平成 27 年 7 月中旬から当財団の大学院生の博士課程後期の奨学生を対象として行う。
- ④ 平成 27 年 10 月に特別奨学生の応募者の中から平成 28 年度の特別奨学生の選考を行う。
- ⑤ 平成 28 年度第 1 期奨学生の募集を平成 27 年 12 月初旬から日本語学校生および大学学部 3 年生になる再応募資格を有する学生を対象として行う。
- ⑥ 平成 28 年度第 1 期の奨学生として平成 28 年 3 月初旬に日本語校生および大学学部 3 年生になる再応募学生の選考を行う。
- ⑦ 平成 28 年度第 2 期奨学生の募集を平成 28 年 3 月中旬から大学学部 1 年生および大学院生を対象として行う。

2) 研修会・交流会の開催

① 研修会の開催

奨学生、元奨学生等の参加による研修会を年 2 回程度開催。

学識者のセミナー開催による留学生の知識向上や、日本各地の名所・旧跡等の訪問により、留学生の日本への理解を深める機会を設ける。

② 交流会の開催

奇数月の奨学金支給日に奨学生・会館生、元奨学生・元会館生等および財団役員等が参加し「例会」を開催。日本文化や他国の文化、あるいは留学生の研究発表等を学習する機会を設ける。

2. 高山留学生会館の設置運営事業

- ① 高山留学生会館の設置運営を行う。
- ② 交流会、研修会等を開催し、入居者間の相互理解と友好の増進に努める。
- ③ 平成 28 年度の入居者を募集する。
- ④ 平成 28 年度の入居者を選考する。
- ⑤ 平成 27 年 12 月末までに空室が発生した時には随時入居者を募集し、選考する。

3. 機関紙の発行

当財団の事業活動の報告、奨学生・会館生からの投稿を編集した機関誌「かけはし」を発行する。また、平成 26 年度の当財団の概要、事業活動及び新規奨学生並びに会館生の論文等を掲載した年報（副題：夢）を発行し、関係者に配布する。

平成 27 年度年初事業計画と修正事業計画との比較表

1. 奨学生数の比較

学校種別	年初計画			修正計画			増減
	新規	継続	計	新規	継続	計	
日本語学校生	22	0	22	22	0	22	0
大学学部生	32	28	60	33	28	61	1
大学院生	12	15	27	13	15	28	1
うち特別奨学生	3	4	7	3	4	7	0
合 計	66	43	109	68	43	111	2

2. 支給金額の比較

学校種別	年初計画	修正計画	増減	修正 後	修正後 合計年額
	月額・年額	月額・年額	月額・年額		
日本語学校生	60,000	60,000	0	22	15,840,000
大学学部生	110,000	120,000	10,000	61	87,840,000
大学院生	130,000	150,000	20,000	28	50,400,000
うち特別奨学生	700,000	700,000	0	7	4,900,000
合 計				111	158,980,000